

被災地復興プロジェクト 女川町「コンテナ村商店街」

仮設店舗へのレジスター及びLEDディスプレイの提供支援。今回は女川町商工会青年部の有志による復興の為の仮設店舗、通称「コンテナ村商店街」でおこなった。

女川町は平野部が少なく、今回の震災で最も大きな被害を受けた地域のひとつである。今回の「コンテナ村商店街」オープンの模様は全国ネットのTVや新聞等の取材により大きく伝えられた。

記

日 時：平成23年6月30日、7月1日

訪 問 先：宮城県牡鹿郡女川町鷲神浜字荒立

1. 女川町について

人口・・・9,965人

面積・・・65.79K㎡

2. 被災状況

死 者・・・448人

行方不明・・・454人

家屋等全壊・・・3,021棟

〃 半壊・・・46棟

〃 一部破損・・・86棟

沿岸部は壊滅的被害を受ける



3. 仮設店舗概要

NPO法人『難民を助ける会』が
イタリア製のコンテナハウスを10棟設置
この商店街に食料品店、衣料品店、電気店、
生花店等 9店舗が出店



4. 当社支援内容

レジスター AX-100 × 9台

LEDディスプレイ × 3台

※開設式典時には『ゼロデン』を参考出展

5. 導入状況



オープン当日
レジスターが活躍



晴天でソーラー発電も好調



入口付近からの全体写真



真剣な眼差しで操作説明を
聞く商店街の皆様

記念式典



コンテナ村商店街開設記念式典 来賓一同



女川町長
『町民の皆さんが実感できてこそ
真の復興である』